

まんだら

通巻 195号 2025.1

中島地区コミュニティセンター
熊木分館

電話 66-1567

k-kumaki@pub.city.nanao.ishikawa.jp



年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます令和6年1月1日に震度6強の地震に見舞われ、あれから1年が経ち、新しい年を迎えました。中島地区の皆様には、大変なご苦勞を強いられた一年であったと思います。中島地域づくり協議会も避難所の運営に奔走した館、館自体が被害を受け使用できない所もあり、大変な状況でありましたが、地域の皆様のご支援で運営できた事に感謝を申し上げる次第です。振り返ると話が尽きませんが、今年も中島地域づくり協議会をはじめ、各分館の行事、運営に皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年が穏やかで皆様方に良い年にありますようお願い申し上げます。

中島地域づくり協議会会長 杉木 勉

石川県能登半島地震地域コミュニティ再建事業

日にち 令和7年2月8日(土)

開演 13:45 開場 13:30

場所 熊木分館

「月亭方氣」と
「ぶんぶんボウル」

熊木地区
「お笑いライブと落語」
笑福演芸会



プログラム

13:30～ 開場

13:45～ オープニング

西岸AINAフラサークル フラ

14:00～ ぶんぶんボウル

お笑いライブ

14:30～ 月亭方氣

落語

スマホで申込

どなたでもご参加いただけます！（申込制 先着50名）
参加希望の方は、電話連絡もしくは右のQRコードを使用して分館までお申し込み下さい。（送迎のバスはありません）

申込締切
1月20日(月)

お申し込み先中島地区コミュニティセンター熊木分館
☎66-1567(平日午前8時30分～午後5時)



【事業報告】 《健康体操教室 第3回 2024.11.6 第4回 2024.11.19》

今年度の健康体操教室は終了となりました。また、次年度の開催をお楽しみください。



講師の辻 孝夫先生

ゴムチューブを使用してストレッチを行うとゴムに引っ張られて関節可動域が広がるため、自身だけで行うよりも筋肉を伸ばしやすくなります。



講師の藤本 奈央子先生

今回は、リンパの流れを良くし、筋肉を緩ませ、重心を真ん中にもっていく動きを教えてくださいました。

《学習講座(ゆず味噌づくり 2024/11/22)》

毎年恒例のゆず味噌づくりを行いました。今年は鉈打地区の方もご参加いただきましたので、いつもとは違う顔ぶれで開催できました。

記録写真はありませんが、作業工程はゆずを刻み、だし汁と混ぜて攪拌し、ペースト状になるまで煮詰めます。お好みで唐辛子を加えるなどして完成です。あとはご自宅の味噌を加えたり、さらに唐辛子を加えて柚なんに加工したりと色々アレンジできます。



《分館周辺環境美化のお礼》

冷たい空気の中11月28日に熊木長寿会の皆さんが、分館の環境美化ボランティアで樹木の雪吊りと周辺の落ち葉掃除をしてくださいました。

寒い中の作業となり大変ありがたく思っております。どうもありがとうございました。



《学習講座(蓬莱づくり 2024/12/4)》

蓬莱づくりは、ご自宅でゆっくり作成される方も多いので、当日、分館で作成する方は少ないのですが、数年前からご縁があり、金沢から参加される方もいらっしゃいます。

来年の干支は、巳年でうろこの細かい部分は難儀しましたが、2時間～2時間半ほど完成しました。大変だったところが多ければ多いほど仕上がった時の達成感が得られます。



《クリスマス会 2024.12.14》

中島地域づくり協議会のクリスマス会を開催しました。

たくさんの親子の参加があり賑やかに楽しく交流しました。最初は「トトロのお話会」さんによるハンドベルの演奏や絵本の読み聞かせ、パネルシアター、大型スクリーンに映し出される影絵を見た後、「中島・子どもの広場」の職員によるミニゲームを行いました。

ミニゲームで楽しんでいる最中にサプライズでサンタクロースが登場し、一人一人うれしそうにプレゼントを受け取りました。今年で4回目を迎えるクリスマス会も恒例となり、楽しみに参加して下さる方もおいでになり、子供たちの笑顔が見られることが私たち職員にとっても、ささやかなクリスマスプレゼントになります。また、今年は石川県能登半島地震地域コミュニティ再建事業によるサプライズサンタクロースの登場とプレゼント、クリスマス会が盛り上がりました。



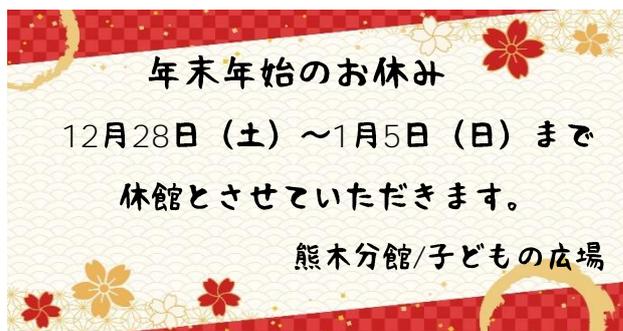
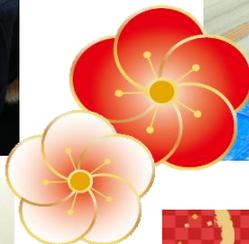
《ミニ門松づくり 2024.12.21》

伝統の正月飾りでもあるミニ門松づくりを行いました。

門松は、新年にその年の神様を迎える目印として玄関や門に飾るもので、そのルーツは平安時代にまでさかのぼるとされます。松、竹以外に杉や榊などを飾る地域もあるそうです。

制作は、容器に砂を流し込み、正面となる部分を決め、竹、葉牡丹、パンジー、松の枝、南天をバランスよく挿し込んで飾り付けを行います。

最後に畳表でつくったものを容器の外側に巻き、飾りで彩りを付けるとオリジナルのミニ門松の完成です。「松の内」の期間は1月1日から7日までが一般的です。手作りの立派なミニ門松が玄関に飾られ、歳神様を迎え入れてくれることでしょう。



ご挨拶

元旦の大地震から1年が経とうとしております。復旧復興を目指しこれからと思っている最中に9月の能登を襲った記録的な大雨、更に暮れから石川県西方沖地震が頻発し、心が折れるような毎日でありました。地域を見渡せば被災家屋の解体が進みつつあり、寂しい風景が広がっております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、ここ熊木分館も天井が落下するなどの大きな被害がありました。この様な施設の状態であっても皆様のご支援の下で防災訓練や敬老会などを開催することができました。また各種団体や趣味の愛好会の方々に施設利用をしていただきました。加えて熊木分館には他館には無い「子どもの広場」と「屋内ゲートボール場」の附属施設が二つあります。「子どもの広場」には学校帰りの児童が来所し、勉強やゲーム、異学年との交流などを楽しんでおり、ちなみに今年度途中の利用者数は約2,200余名となりました。また「屋内ゲートボール場」にも日々利用者が訪れ、今年度途中の利用者数は1,100余名となり健康管理に努めプレーしております。

いよいよ新しい年を迎えますが、来年の干支はヘビ年です。ヘビは脱皮をする「復活と再生」を連想させ、縁起のいい動物と言われているそうです。なんのご縁か11月上旬に分館玄関からヘビが侵入してきました。何かご利益があればと思っております。

これからも私たちは皆様方のご指導ご鞭撻を賜り、地域に密着した活動を続けていきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

結びに皆様のご健康とご多幸をお祈りし年末のご挨拶とさせていただきます。どうぞよいお年をお迎えください。

中島地区コミュニティセンター熊木分館

分館長

筆安知幸

職員

山下佳子

子どもの広場職員

長田ゆかり